

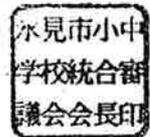


平成20年12月11日

氷見市教育委員会
委員長 橋本 昭雄 様

氷見市小中学校統合審議会

会長 前田 利寛



氷見市小中学校将来計画について(答申)

平成20年7月31日付け学第190号で諮問のありましたこのことについては、下記のとおり答申します。

記

- 1 小学校における複式学級の解消と中学校における教科担任制を生かした教職員の配置や多様な集団活動の展開が可能となる学校規模を確保することにより、教育の機会均等と教育効果の向上を図るため、次のとおり小中学校を再編し、配置すること。
 - (1) 老朽化が著しい朝日丘小学校及び南部中学校は、小中併設校の設置も検討の上、早急に改築すること。
 - (2) 現在複式学級となっている仏生寺小学校は、湖南小学校と統合し、湖南小学校を活用すること。
 - (3) 小規模校の灘浦中学校は、北部中学校と統合し、北部中学校を活用すること。
 - (4) 現在複式学級となっている女良小学校は、今後複式学級が見込まれる宇波小学校と統合し、灘浦中学校を活用すること。
 - (5) 久目小学校、速川小学校、明和小学校については、複式学級化を来さないよう統合を図ること。
- 2 再編は、関係校区の理解を得ながら進めるとともに、原則として既存の学校施設を活用すること。
- 3 再編に際しては、児童生徒の通学確保、教育内容の充実、使用しなくなる学校施設の活用等について十分配慮すること。
- 4 再編後、使用することとなる学校施設については、児童生徒の安全確保のため早急に耐震化を図ること。